

## Q. 本学の総合的な人材育成方針であるディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）について

評価内容	キリスト教の倫理や哲学を通し人間について学びを深め、他者とのかわりの中で自己形成ができた（キリスト教ヒューマニズムの精神を、キリスト教倫理や哲学において理解し、そこで獲得した視座に基づき人間及び社会的現象を考察できた。そして、その精神の根底に在る人間の尊厳への敬意、他者愛、献身の心を深く理解するとともに、他者とのかわりの中で自己形成を行い、人間関係、共同体を構築する力を備えた。）	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得することができた（大学での学びに必要な読解力、論理的文章構成力、発表力を身につけた。同時に人文・社会科学を中心とする幅広い教養を修得し、人間と社会にかかわる多様な事象を理解し、意見を発信する力を身につけた。）	英語の4技能（読む、書く、聴く、話す）を伸ばし、自分の考えを明確に発信できた（英語を実践的かつ学術的に運用するために重要な主題として、(1)自己形成と他者との共存、(2)異文化・多文化、(3)日本における社会問題、(4)日本の問題と国際問題、にかかわる知識とともに、自己発信力に重点を置いた4技能（読む・書く・聴く・話す）を身につけた。）	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できた（異文化理解、英米文学研究、言語研究、言語教育、多文化共生、及び国際問題とかかわる分野の知識を獲得し、論理的、批判的思考に基づき、研究する力を身につけることができた。自律した学修者として課題を自ら設定し、それらに挑戦し続けることのできる意欲と技能を持つことができた。）	地球市民的意識を有し、グローバルな問題に取り組み、多文化共生社会の形成を担う力を身につけることができた（言語及び文化における多様性の肯定的な理解のもと、地球規模の課題と自分との接点を見出し、背景の異なる他者との対話と協働を通し課題解決に向かっていく力を持つことができた。）
非常に同意できる	31.4%	41.2%	37.9%	38.6%	37.9%
同意できる	52.9%	50.3%	53.6%	52.3%	47.7%
上記合計	84.3%	91.5%	91.5%	90.9%	85.6%
どちらともいえない	14.4%	7.8%	8.5%	9.2%	12.4%
同意できない	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%	2.0%
全く同意できない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## Q. 本学での学びを通して得た学修成果について

評価内容	英語を聴く力が向上した。	英語を話す力が向上した。	英語を書く力が向上した。	英語を読む力が向上した。	英語以外の専門知識が向上した。	プレゼンテーション能力が向上した。
非常に同意できる	57.3%	35.7%	41.4%	44.6%	56.1%	61.1%
同意できる	37.6%	45.9%	45.9%	48.4%	36.3%	33.1%
上記合計	94.9%	81.6%	87.3%	93.0%	92.4%	94.2%
どちらともいえない	5.1%	17.2%	11.5%	6.4%	7.0%	5.7%
同意できない	0.0%	1.3%	1.3%	0.6%	0.6%	0.0%
全く同意できない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

英語の4技能（読む、書く、聴く、話す）を伸ばし、自分の考えを明確に発信できた

- 非常に同意できる
- 同意できる
- どちらともいえない

英語の4技能が向上したと評価する学生は9割を超えており、ほとんどの卒業生が本学の教育における英語学修成果を肯定的に評価しています。

